

1997年

No.

20

Date

平成9年7月4日 午前5時41分 第3子(男子) 3,300g

いつの間にか、3人の母親になって~~お~~いる私です。

新聞やテレビ等で連日取りあげられている、中学生による残酷な殺害事件や連続通り魔事件などを耳にするたび、子供を育てることのむずかしさを感じずにはいられません。

午前2時におやと思ひ、その後20分おき、15分おき、そして10分、5分と、ほぼ1時間余であつという間に5分おきになり、子どもが下がってゆく感じがわかりました。そして、生卵をかけたごはんが急に食べたくなり、陣痛の合間に「やっ」といって(いつもは卵かけごはんが好きでないので……)ついでにお風呂に入り、もう一度康乃先生に電話をして4時頃、父母と一緒にここにきました。

夫は福島からかけつけ、夫が分娩室に入ると同時に血性のおりもの破水、そして、すぐに産まれてしまいました。

あつという間で、康乃先生にも「余裕だね」と言っていた通りとてもいいお産ができたなあと思っております。

里帰りなので⁹母⁹月⁹から診察していただいたのですが、いつも真していただく本やビデオ、そして「自然に産めるのだ」という自信が持てるお話の数々に、お産がとても~~楽~~たのしみ(?)になります。

もしかしら。これで最後かもしれない快適な入院生活を思うと、少々淋しくなりすが、3人が3人と夫と共に~~子供~~産めたこと、とても嬉しいに思います。

そして、これからの子育て、スタートは、子どもたちが生まれる時に、生まれてきた自然なものであることをいつも心に留め、がんばりたいと願っています。

2人目出産の時、なんか、中嶋助産院が可ばらしいのだということをわかっていただけるといいなあと思、このノートも冊子にしてガイドブックのようなものがあれば... と思いました。

したら、3人目のときにわたしていただいた「子のためにテキスト」はとてもおてきなものでなあと思、うれしくなりました。

それから、何よりも、ここで出産をしてから、康乃先生に出会ってから、私は、自分の仕事が好きになりました。いつもいつも勇気づけられ、あの仕事に対して、いつも新しく、人間的なものを追究する姿勢や、それを実践する力、それと、様々な形で、表現して、伝えてくれる、仕事って、こうすると楽しいんだと思わざるを得ませんでした。

家族人と職業人との両立は、とても大変だけど、そして、人間相

の職業は、本当に大変だといふ方がない気がします。

で、康乃先生や、大先生の働く姿に、ここで看護を経験した
 のが、こんなにもたくさん元気になっているのだということをお伝え
 したいと思っております。

私の母も、3人と大先生にトリメチン^{毎日おぼしては}をいただき、とくに、私は
 家庭分娩で産まれたため、洗たくを全部やってくださったこと、
 今でも感謝しているそうです。

そして私も、3人とトリメチン^{毎日おぼしては}をいただいた康乃先生に、接して、
 私も、がんばろうと思うことができて、感謝しています。

もし、氷から子どもを産むことがなくとも、

中嶋助産院にめいびに幸たいと思っております。

いつまでも、アゲてください。

私の弟のお嫁さんもお世話になりました。

伊達郡築新町、齋藤 貴恵